

平成 29 年度 第 1 回長野県教科用図書選定審議会 議事要旨

1 日 時：平成 29 年 4 月 13 日（木）午前 10 時～12 時

2 会 場：長野県庁議会棟 403 号会議室

3 出席者

○委 員：石塚委員、木下委員、下島委員、長谷部委員、松井委員、宮島委員、岩本委員、二茅委員、野田委員、藤森委員、犬飼委員、柄澤委員、田仲委員、水口委員、宮下委員

○事務局：原山教育長、北澤教学指導課長、湯沢企画幹、佐倉義務教育指導係長、勝又特別支援教育課指導係長ほか

4 内 容

(1) 教科用図書選定審議会の組織について

①会長選出

②会長職務代理者の指名

・会長 水口委員 ・職務代理 田仲委員

(2) 教育委員会からの諮問について

(3) 関係法令、採択の概略の説明

(4) 議事

①調査員の任命について

【調査員の名簿については非公開】

②小学校教科用図書（「特別の教科 道徳」）の採択基準、特別支援学校小学部及び中学部並びに特別支援学級において教科用図書として使用する一般図書の採択基準について

▶ 提案のとおり承認

③小学校教科用図書（「特別の教科 道徳」）の選定に必要な資料、特別支援学校小学部及び中学部並びに特別支援学級において教科用図書として使用する一般図書の選定に必要な資料について

○ 小学校教科用図書（「特別の教科 道徳」）の選定に必要な資料について

【木下委員】「調査の観点」の「多様な教材」や「現代的な課題」については、抽象的であるため、調査員に、学習指導要領を基に観点を理解してもらうよう事務局には配慮をお願いしたい。

【宮島委員】「3 学習指導への配慮」の(2)の「各学校で創意工夫して適切な指導計画を作成できるように」というところが、何をもって創意工夫するのが分かりにくい。

【下島委員】例えば、地域の素材を取り入れて扱うなど、「地域の実態に応じて」の箇所が大切である。

【野田委員】道徳全体計画の中に、児童の実態に応じて決め出す重点内容項目がある。児童の実態に応じて、軽重を付けながら行っていくということが、創意工夫だといえる。

【犬飼委員】授業が分かりやすく、みんなが意見を言いやすいものだとよい。

【柄澤委員】道徳の時間だけでなく、生活の中で学べるようになるとよい。

【岩本委員】評価について、「3学習指導への配慮」の(5)にある「成長の様子を把握できるよう工夫」することは可能か。また、「3学習指導への配慮」の(3)の「現代的な課題」について、文部科学省は、いじめを意識していると思うので、いじめを直接的に出し、「いじめなどの現代的な課題」としてもよいのではないかと。

【事務局】いじめも大切な課題であるが、様々な課題を把握する意味で、現代的な課題という大きな枠で掲げてみた。評価のところも含めて、観点を具体的にした方がよいか、調査員の記述において具体的にした方がよいか、ご意見いただきたい。

【岩本委員】調査の観点到、あまり具体的なものを盛り込むと、意思が働くことになるので、抽象的でよい。調査員の名簿によると、道徳教育に造詣の深い方々だと思うので、学習指導要領に基づいて調査研究していただけることを期待する。

【松井委員】道徳的価値を気付かせたい。「気付き」の文言が入るとよい。

【水口委員】「気付き」というのは、記述のどれに該当したり、関連したりするのか。

【事務局】「気付き」については、「学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」では、「…道徳的価値に気付き…」などと使われている。

【水口委員】そうすると必ずしも完全一致ではないが、「気付き」に関連するものは、この中の記述に含まれているということによいか。(異議なし)

○ 一般図書の選定に必要な資料について

【石塚委員】盲学校の視点でみると、「2表現」の「(2)図形やさし絵、写真などの配慮がなされているか。」の観点については、非常にありがたい。配慮の具体としては、弱視のお子さんは、色合いなどがくっきりしているものだとよい。

【藤森委員】「1内容」には、(5)に興味・関心が載っており、一般図書が操作できるものであったり、触って言葉が出てくるものであったり、子どもがどういうふうに見えるかという視点が大事である。また、「2表現」では、この絵は分かりやすいか、文字の大きさはどうか等、観点の一つ一つが大切にされていると思うので、調査員の方々には、この観点に沿って研究してもらいたい。

【松井委員】教科書の特徴が分かるように、調査研究していただくと選定しやすい。

* 議事内容については、全員意義なく承認されました。